

6月16日(日)に第70回東京青木会総会が開催された。ルーツを遡るとこの東京青木会の前身の青木村出身の関東周辺在住者の懇親会は大正7年に発足し、95年続いているそうです。青木村出身の五島慶太氏(旧姓小林)の尽力により千代田区三番町旧上田藩邸内に千曲寮が完成、初代管理人になったやはり青木村出身の早川喜八氏が「禁酒会」をスタートさせたのが始まりだそうです。戦争中などに何年か中止していたことがあり、総会としては今回が70回目でした。

この「禁酒会」という名前で、私の父(上田中学33期)も東京勤務時代に参加していたことを思い出します。故人に直接は確認しようもないですが、父の妹たち(つまり私の叔母たち)が「大酒飲みのあなたの父さんも若い頃には禁酒会って会に参加していたのよ、おかしいわね」と笑っていたのを憶えています。会の歴史に詳しい会長は「禁酒会という名前の飲み会だった」とバツサリ。なーんだ、そういうことか。

現在は昭和16年あるいは17年生まれの先輩が会の中心で、戦後生まれは21年生まです少し登録されているが、今まであまり参加しておらず、70回大会だから70人を目標にしていると、櫻田喜貢穂氏(7組)と私に”若手”の参加勧誘の依頼がありました。二人共も今回が初参加、嬉しいような悲しいような、今のところ最若手に属しています。

総会では、昨年度の活動報告と今年度の事業計画発表の後、懇親会に移り、上田出身の落語家三遊亭鬼丸師匠の落語を聴きました。参加者全員が成人なので、演題はTV放送されない類のものでした。村歌「常盤のみどり」は元は青木小学校校歌だったので、青木村出身者でこれを知らない者はいません。中学卒業後半世紀ぶりに顔を合わせた同級生も多く、「常盤のみどり」斉唱で甘酸っぱい少年時代の記憶が少しずつ蘇ってきました。上田高校で皆さんに会う前の記憶です。カラオケ・歓談に続き、閉会前に県歌「信濃の国」と唱歌「ふるさと」を斉唱すると何故か胸が熱くなってきました。

そもそも昨年上田高校65期が幹事を務めた関東同窓会総会で、東京青木会の会長に櫻田氏と私が青木出身であると顔と名前を覚えられたことが、今回のことにつながりました。という訳で、ともかく上田高校関東同窓会のおかげと感謝申し上げます。

この写真は、この日参加した我ら若手の写真です。参加者全員の記念写真はいずれ東京青木会のホームページに掲載されると思います。皆さんも、いつか東京青木会のホームページを開きいただければ幸いです。<http://tokyo-aokijimdo.com/>

宮原 豊(9組)

東京青木会第70回記念総会
平成25年6月16日

